

しが「読み解く力」～実践編～ 【小学校 外国語活動・外国語科】

- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



【小学校：外国語活動・外国語科】

「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる
「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりのポイント

【外国語活動】

◇コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報や自分の考え等を伝え合うことを体験できる言語活動の設定や授業の展開ができているか。

【外国語科】

◇コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、既得の知識や経験と新しい情報を整理し、自分の考え等を伝え合う言語活動の設定や授業の展開ができているか。

- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



単元名 「Welcome to Japan」 （小学校第5学年）

日本の文化についてよく知ったり相手に日本文化についてよく知ってもらったりするために、日本の行事や食べ物などについての短い話を聞いて概要を捉えたり、自分が好きな日本文化などについて、伝えようとする内容を整理したうえで、話したりすることができる。また、アルファベットの大きく・小さくを活字体で書くことができる。

- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



第1時

日本の四季や文化についての話を聞いたり、四季や文化に関する語句や表現を言ったりする。

第2時

日本の食べ物や日本の遊びについての話を聞いたり、食べ物や遊びに関する語句や表現を言ったりする。

第3時

年中行事についての話を聞いたり、それぞれの季節に行う年中行事や季節の食べ物について言ったりする。

第4時

好きな季節や年中行事について尋ねたり答えたりする。

第5時

好きな日本の遊びや日本の食べ物について尋ねたり答えたりする。例を参考に、自分な好きな季節を書き写し、「日本の素敵ガイドブック」を作成する。

第6・7時

自分の好きな季節や年中行事、食べ物などの日本文化について気持ちや考えを伝える。【本時6時】



- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 **本時の目標**
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ

日本文化について相手によりよく分かってもらえるように、自分の好きな季節や日本の年中行事、食べ物などについて、気持ちや考えなどを話すことができる。

- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 **本時の流れ**
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



(1) 課題を見つける

(2) 見通しをもつ

- ・ 言語活動の目的・場面、状況を理解する。
- ・ 「聞くこと」の活動を通して、自分の気持ちや考えを伝えるために必要な情報や表現に気付き、本時のゴールのイメージをもつ。

(3) 自分で考える

- ・ 前時の学習をもとに、自分の好きな季節や日本文化の紹介を考える。

(4) 共に学び合う

- ・ ペアやグループでALTの先生に紹介したい日本文化を伝え合う。

(5) 学習をまとめる

- ・ 言語活動の目的・場面、状況に応じて、自分の思いや考えを発表する。

課題発見・解決のプロセス 課題を見つける ≧ 見通しをもつ ≧ 自分で考える ≧ 共に学び合う ≧ 学習をまとめる ≧ 学習を振り返る ≧ 新たな課題を見つける



- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ

- ・ 言語活動の目的・場面、状況に応じて、指導者とALTとの対話から自分の気持ちや考えを伝えるために必要な情報や表現に気付く姿。(A①)
- ・ 自分が伝えたい内容に照らし合わせながら友達の紹介を聞き、内容を整理したり、付け加えたりしてよりよくしようとする姿。(B②)
- ・ 言語活動の目的・場面、状況に応じて、相手を意識しながら、内容を整理して分かりやすく発表する姿。(B③)



- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ

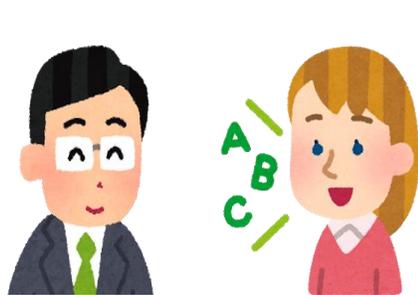


- ① コミュニケーションを行う目的・場面、状況のある言語活動を設定し、必要な情報や表現を取り出すことができるようにする。



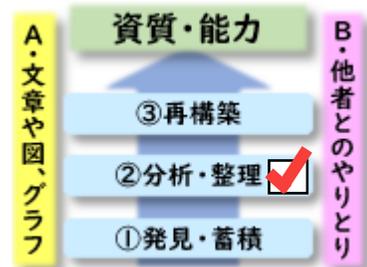
言語活動の目的・場面、状況：今年日本に来たALTの先生がもっと日本を好きになってくれるよう、「日本の素敵ガイドブック」を作成し、自分の好きな季節や日本文化を紹介しよう。

- ・ 指導者やALTとの対話等から、本時のゴールのイメージをもつ。



ALTの先生は花が好きなんだって。私が好きな春を紹介したらいいかも。

前に学習した、We have～.とYou can eat～.で好きな日本の行事と食べ物を紹介できそうだな。



②ペアやグループで交流する場面を設定し、互いの気持ちや考えを伝え合うことができるようにする。

- ・前時に作成した「日本の素敵ガイドブック」をもとに、伝えたい内容を考える。



私は花火大会のことをALTの先生に伝えたいな。
We have～. で花火大会があることを言えるんだったね。

- ・自分が伝えたい内容に照らし合わせながら友達を紹介を聞き、自分が伝えたい内容を整理したり、付け加えたりしてよりよくする。

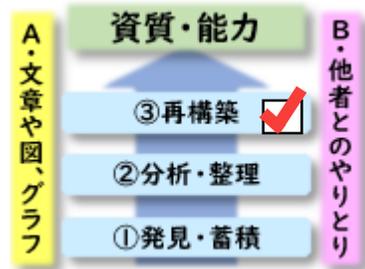


It's delicious. 私もおいしいと思うな。

ALTの先生は、日本の食べ物が好きだとおっしゃっていたから、食べ物を紹介を1番に言うといいね。

I like winter.
You can eat ozoni on New Year's day.
It's delicious.





③友達との交流を通して気付いたことを生かし、言語活動の目的・場面、状況に応じて、自分の気持ちや考えを整理して表現することができるようにする。

- ・既習事項も用いて、相手を意識しながら内容を分かりやすく整理して伝える。

I like spring.
We can enjoy ohanami.
You can eat hanami-bento.
It's nice.



That sounds nice!

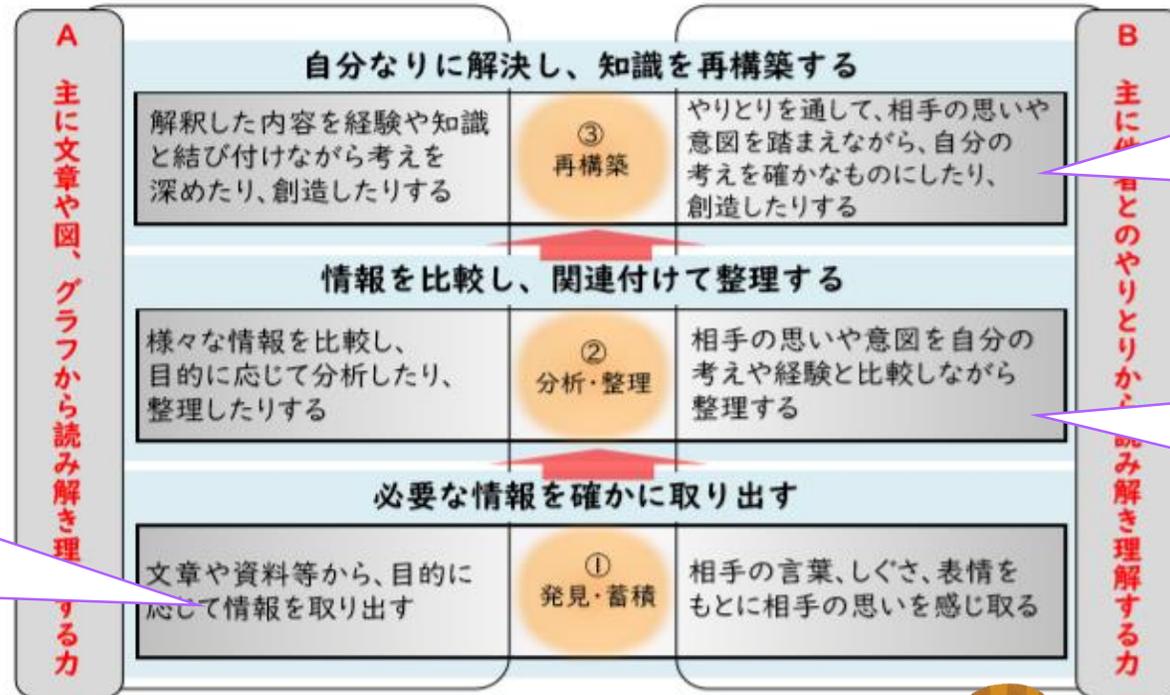


- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



【本時で身に付けたい資質・能力】

日本文化について相手によりよく分かってもらえるように、自分の好きな季節や日本の年中行事、食べ物などについて、考えや気持ちなどを話すことができる。



前に学習した、We have ~.とYou can eat ~.で好きな行事と食べ物を紹介できそうだな。

前に学習した表現も使って、相手に分かりやすく整理して伝えよう。

It's delicious. ね。感想も言っているね。私もおいしいと思うな。

目的意識

